

6 June

騰々舎便り

任運社五月祭



令和5年5月14日、式典のみでしたが、4年振りに法人内合同による『五月祭』が開催されました。式典はデイサービスセンターなごみ塾のホールで行われ、密を避ける為関係者のみ参加し、その様子は各施設にテレビ中継で配信されました。



利用者代表・羽田野俊則氏による祝辞

社会福祉法人

にうんしゃ
任運社

障がい者支援施設

とうとうしゃ
騰々舎

〒879-6601 大分県豊後大野市緒方町馬場796-1 TEL0974-42-3578 (事務室)

FAX0974-42-4187

TEL0974-42-3579 (寮母室) ※土日祝日はこちらにおかけ下さい。

《E-mail》 toutosha@gold.ocn.ne.jp

《ホームページ》 <http://ninun.or.jp/> ※任運社内では介護職を『寮母』と呼びます

編集・印刷・発行 騰々舎広報研修委員会

自治会通信

【自治会・相談員会議】

令和5年4月17日(月)開催

◆行事について

《五月祭》

・5月14日(日)開催。式典はなごみ塾ホールにて、他は施設毎に実施。

・紙芝居は面白くて、良かったです。

・目の前でお寿司を握ってくれたのが良かったです。美味しかったです。

・式典はリモートでしたが、問題なく見ることができました。

《母の日》

・5月19日(金)午後、茶話会を実施。

・司会は竹内希さん、プレゼンターは安藤渚さんです。

《父の日》

・6月21日(水)午後、茶話会を実施。

・内容は例年通りとします。

◆その他

・6月17日は故吉田嗣義会長の命日です。自治会よりお花を贈り、仏間に飾らせてもらいます。

・前回の自相会議で『Mさんに朝方は西棟トイレ付近を通らないで欲しい』と意見が出ましたが、会議以降、通る事がなく安心してトイレを利用できています。(竹内氏・井出上氏)

◆役員より

・Yさん(男性)が他人の部屋に入ります。入らなように注意して欲しいです。(数日前、井出上さんが部屋に戻った中にYさんが中に居て、テレビのターンテーブルを動かしていた。旧館の時から他人の部屋に入る事があったと声あり。)

(竹内氏・井出上氏)

贈られた花は、館内に飾ったり、花壇に植え替えたりしました。



初めての司会に緊張マックス！



HAPPY MOTHER'S DAY

5月19日(金)午後、自治会主催の母の日行事が行われました。日頃のお世話への感謝の気持ちを込めて、自治会から職員へお花やスイーツを贈りました。職員を代表して工藤睦美寮母副主任が「寮母という字には『母』が入っていますが、この一年母のようにお世話ができたろうかと反省すると共に、これからも優しい手、眼差しを忘れずに頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。」とお礼の言葉を述べました。

6月の行事予定

15日(水) 任運社福祉サービス 相談委員会
16日(金) 任運社評議会理事会
21日(水) 父の日行事
26日(月) 利用者・職員対話会

★吉田施設長より

五月祭お疲れさまでした。再来年は任運社創設50周年なので、対面式で行われると思います。コロナも5類になり、社会全体はコロナ前のようにオープンになってきています。しかし、任運社はクラスターも発生せず抗体を持っている人が少ない為、今まで通りの感染予防対策を行い、活動に関しても慎重に対応していきます。

↓この場で決める事は出来ないもので、運動会前の対話会で役員からの提案として皆さんに聞いてみてはどうでしょうか。(工藤サビ管)

(工藤氏)

↓Yさんは以前より西棟や中央棟で他入居者の部屋へ入る、入ろうとしている姿を度々職員が確認しています。その都度Yさんには入らないように伝えていますが、指示が通らない部分もあります。職員にはYさんの行動や所在の確認をするよう、また入りそうな姿を見かけた時は素早く対応するよう伝えます。(工藤サビ管)

会の後は、ロールケーキとコーヒーで美味しいひと時を過ごしました。



好物を食べて飲んで、元気モリモリ！お寿司LOVEです♡

室原恒喜さん (83歳)



声掛けすると、「誰？」と言いたそうに職員の顔を見つめてくれます。

田原広さん (69歳)



真顔で冗談を言われるので、職員は騙されそうになります(^_^)

阿南潤喜さん (61歳)

6月の誕生者



ご家族からいただいたプリン、美味しそうに食べられています。

吉良悦子さん (75歳)



最近は銀チョコパンがお気に入りです。「美味しい！」

工藤里美さん (45歳)

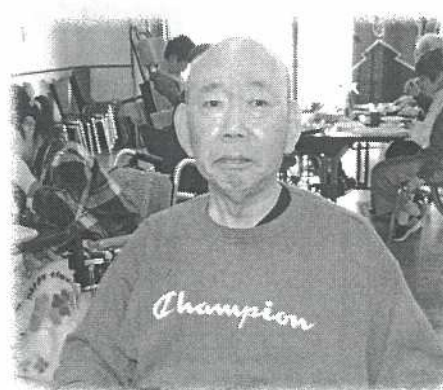


入居して約半年。騰々舎での生活にも慣れてきました。

竹内優希さん (32歳)

いつもありがとう！





五月祭

5月14日(日)、第48回任運社創立記念五月祭が開催されました。コロナは第5類へ移行されましたが、感染防止対策として今年もご家族、来賓、ボランティアの参加は見合わせました。

なごみ塾ホールにて式典のみ合同で行い、その模様はテレビ中継を通して各施設の利用者、職員が観覧しました。今年、騰々舎では、首藤須賀子寮母(30年)、吉田大施設長(20年)、藤澤弘子寮母(20年)、白石宏憲寮母(10年)、衛藤智鈴事務員(10年)の5名が永年勤続表彰となり、廣本理事長より賞状と記念品が授与されました。また、騰々舎利用者を代表して羽田野俊則自治会長が挨拶をされ、表彰者を代表して首藤須賀子寮母が謝辞を述べました。

今年も模擬店はありませんでしたが、山村徹寮母が利用者の目の前でお寿司を握って回り、皆さんからとても好評でした。来年こそは以前の賑わいを取り戻せれば、と思うばかりです。

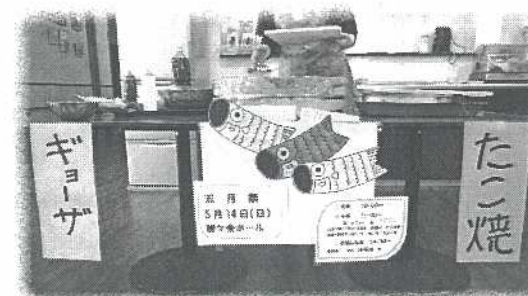
(五月祭実行委員 平山晶大)



全体作品
お花紙のカラーボールアート



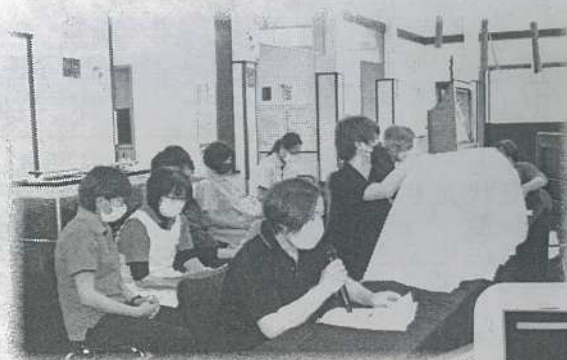
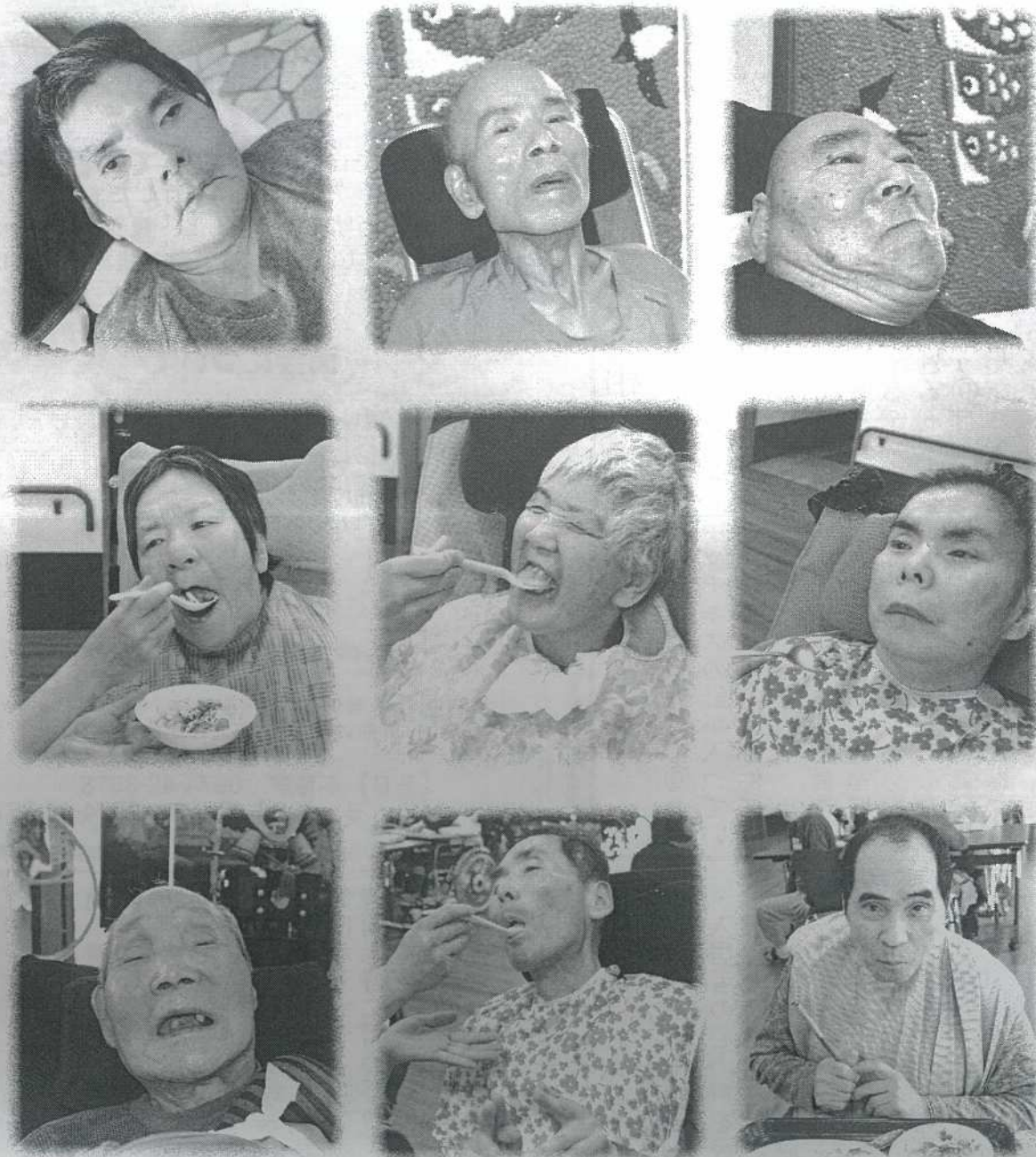
後列左より 吉田大施設長、藤澤弘子氏、白石宏憲氏、衛藤智鈴氏
前列左より 羽田野俊則自治会長、首藤須賀子氏



模擬店はありませんが、皆さんの好きなメニューを用意しました。



阿南さん「大将、まぐろひとつ、よろしく！」
山村寮母「へい、承知しました！」と、会話が聞こえてきそうです。



紙芝居は孫悟空のお話ですが、面白おかしくアレンジをして披露されました。職員は声優になりきって、皆さん名(迷?)演技。「もっと観たい。」とリクエストも聞かれました。



任運社福祉サービズ相談委員会

5月18日(木)に開催。①転倒(5件・内4件は同一人物)⑥センサーマットの電源入れ忘れ⑦お膳に薬袋のホツキキスの針が入っていた⑧尿カテーテルの抜去⑨薬の飲みこぼし⑩薬の配置ミス(2件)、以上11件が報告されました。

今後の対応としては、①移乗の際は必ずナースコールで職員を呼んでもらう⑥センサーマットのスイッチは必ずオンにする、退室時にセンサーマットの作動確認をする⑦薬袋はホツキキス止めの部分を残すようにハサミを使用して開ける⑧尿カテーテルを使用している方の移乗介助は慎重に集中して行う⑨自身で内服する方へ目配り、気配りを行う⑩食事を準備する際、薬をお膳に置く職員、それを再確認する職員と役割分担を明確にする事を申し合わせました。

次回は6月15日(木)に開催されます。

(サービズ管理責任者

工藤奈々)

新型コロナウイルス対策に伴う 面会制限緩和について

現在、騰々舎では**窓を開放しての面会を実施**しております。しかし、5類に移行したもののコロナが完全に終息したわけではないこと、緩やかに増加傾向であること等を考慮し、一定の条件の下実施しております。ご理解、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

面会について

面会者…ワクチン2回以接種された方

3名以内

玄関にて検温、問診表記入をお願いします。

※上記の条件に満たない場合は、窓越し面会とさせていただきます。

面会場所…旧騰々舎食堂前のテラス
(新舎屋へは入れません)。

面会時間…面会時間は20分以内とします。

予約制とさせていただきます。

事前に電話にてご予約をお願い致します。

【平日】事務室 0974-42-3578

【土・日・祝日】寮母室 0974-42-3579

委員会報告

★防災対策委員会

・梅雨時期に入ったので、早々に樋の清掃を行います。

★事故対策委員会

・薬の飲みこぼしの報告が多くありました。その人にあった服薬方法等を検討していきます。

★喀痰・吸引委員会

・湿度が高くなるとカビの発生が気になります。吸引器や備品等の清潔保持に努めています。

★行事委員会

・梅雨になり湿度が高くなりました。食堂の衛生管理に努め、食中毒の発生を予防します。

★感染症対策委員会

・統一した対応が出来るよう、各種感染症に対するマニュアルを整備します。

★拘束・虐待防止委員会

・入居者の心の声を汲み取りながら虐待の芽を出さないよう、入居者の尊厳を守る事に取り組んでいます。

★褥瘡対策委員会

・こまめなボディチェックを行うことで、傷の早期発見、早期治療が可能となり褥瘡予防に繋がっています。

★広報・研修委員会

・発送が大変遅くなり、申し訳ありませんでした。

騰々任運

今回、言語聴覚士(言語・聴覚・音声・嚥下などの障害にたいする専門家)の方に施設に来てもらい、実際の食事介助や口腔ケア、個別の食事形態などを見ていただきました。

入居者の方は、食事形態が合っていない事で誤嚥性肺炎や窒息などのリスクがあります。現在の状況を見極め個々に合った食事を提供することに努めています。専門家が入ってもらったことで新たな知識や道具を教えて頂きより良い状態で食事を提供することができるようになりました。とても簡単でも一手間かけると状態がこれほど違うというのにも驚きでした。特に施設の中では、食事は命を繋いでいる事を実感させられます。美味しい食事、安全な食事、しかし、それだけではなく楽しく過ごすことで身体だけでなく気持ちのケアも必要です。

騰々舎でも楽しく食事ができるように様々な工夫をしていますし、食事に関する行事も多く取り入れています。沢山のアイディアでより良い生活を目指していきます。

後日、中学生の娘が私の部屋で保健体育の勉強で「食事」について勉強していました。「食事は規則的にバランスの良い栄養を摂るとともに人と一緒に楽しく過ごすことで、身体だけでなく精神のバランスもとることが出来ます」と読みながら赤線を引きっていました。

(施設長

吉田 大)